

人流データを活用した 都内訪問者の行動傾向

Vol.3

～イベントの効果をどのように 把握するか？～

発行日：2025年4月30日

発行者：公益財団法人東京観光財団(TCVB)

協力：東京都立大学都市環境学部観光科学科ツーリズム・モビリティ計画学研究室



はじめに

- 公益財団法人東京観光財団（以下「TCVB」という）は、令和4年度より人流データを活用した観光動態分析ツール、「おでかけウォッチャー」を導入しました。本ツールでは、携帯電話のGPS情報※データを活用し、広範囲、かつ大規模な人流データをリアルタイムで取得し、都内観光スポットへの来訪者数、来訪者の属性等を分析することが可能です。 ※140以上のスマートフォンアプリを通じて利用者から明示的な同意を得て取得した月間3,000万人の国内居住者の位置情報
- 現在、都内の主な観光スポットを含む約1,900か所をモニタリング地点として登録し、国内在住者の東京都への来訪者動向の把握のために活用しています。
- また、令和6年度は、都内の6つの観光協会・自治体等と共同運営しており（TCVBと同一のダッシュボードを利用）、各自治体における観光人流の把握やマーケティング活動にも活用いただきました。
- 令和6年度は、本取組をより多くの自治体や観光協会の皆様にお役立ていただけるよう【東京都立大学都市環境学部観光科学科ツーリズム・モビリティ計画学研究室（清水哲夫教授）】にご協力いただき、「おでかけウォッチャー」から分かる都内の来訪者傾向等についてレポートを公開して参りました。
- 最終版であるVol.3となる本レポートでは「おでかけウォッチャー」を活用して、イベントの効果をどのように把握できるかを試行的に分析します。
- 本レポートが、都内の自治体や観光産業に関わる皆様の地域における訪問者傾向の現状把握や、マーケティング活動の一助となれば幸いです。

CONTENTS

1. イベント効果を把握する方法を考える（スライド2～）
2. 分析自治体における対象イベントの効果分析（スライド5～14）
3. 本レポートから分かること：まとめ（スライド15～16）

「おでかけウォッチャー」で分かること
日、週、月単位等で、以下の情報が分かる。
※対象は国内在住者のみ

1. 来訪地分析（どこへ来ているのか）
2. 発地分析（どこから来ているのか）
3. 属性分析（どんな層がきているのか）
4. 前後別周遊分析（どことどこを周遊しているのか）
5. 旅程分析（日帰り・宿泊比率）
6. 時間分析（時間帯別来訪者）



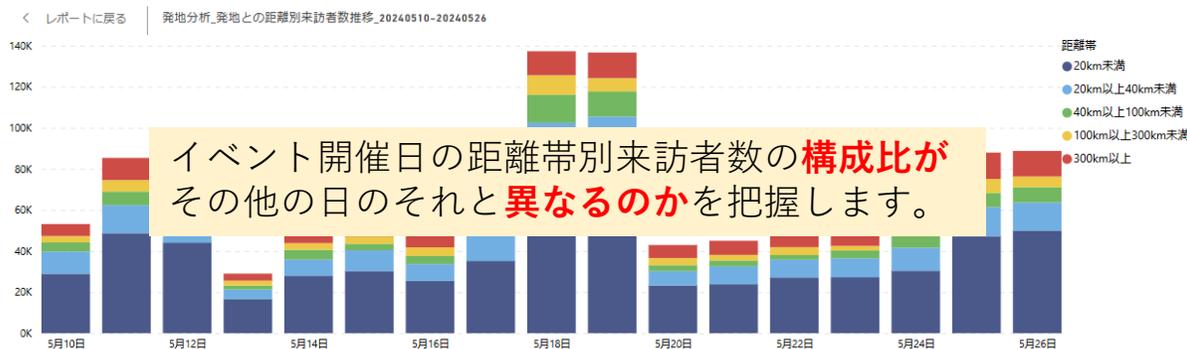
1. イベント効果を把握する方法を考える

おでかけウォッチャーでは、登録されているモニタリングスポットの時間帯別の来訪者数が分かります。この特徴を生かして、イベントの効果把握することが可能になるかもしれません。今回は**中央区、港区、台東区、墨田区、八王子市**を対象に、これら5地域で2024年に開催された一部のイベントについて、イベントの定量的効果をどのくらい把握できるかを試してみました。**具体的には以下の4つの視点で分析します。**

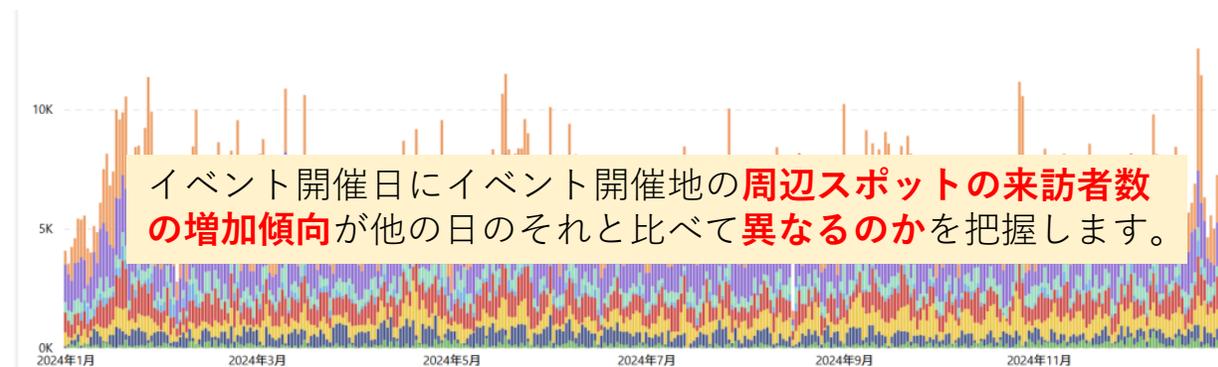
視点①：日別来訪者数分布・ランキングによる分析



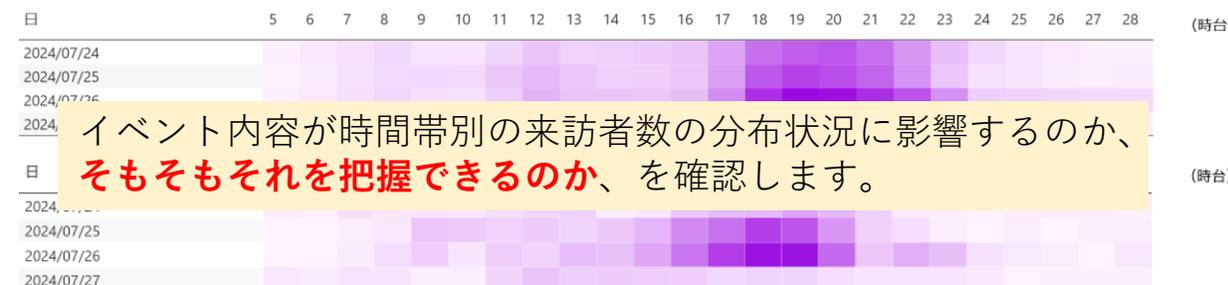
視点②：来訪者の居住地からの距離帯による分析



視点③：イベントの周辺スポットへの波及の分析



視点④：イベントの時間帯別の来訪者数ピークの分析



1. イベント効果を把握する方法を考える

次頁以降に、各地域のイベントの分析内容を紹介します。分析対象とした各地のイベント、期間、スポット・エリアは以下の通りです。

地域	イベント名	時期	関連スポット・エリア
中央区	べったら市	2024年10月	宝田恵比寿神社 梶森神社
港区	つきじ獅子祭	2024年6月	波除神社
港区	麻布十番納涼祭り	2024年8月	麻布十番商店街
港区	新橋こいち祭り	2024年7月	新橋飲み屋街
台東区	泉岳寺義士祭	2024年12月	泉岳寺
台東区	みなと区民祭り・浜祭り	2024年10月、11月	増上寺 都立芝公園
台東区	三社祭	2024年5月	浅草エリア
台東区	隅田川花火大会	2024年7月	隅田川花火大会 観覧者集計エリア
墨田区	隅田川花火大会	2024年7月	墨田区全体
墨田区	大相撲本場所 (両国国技館)	2024年1月、5月、 9月	両国国技館
墨田区	墨堤さくらまつり	2024年3月～4月	墨田区立隅田公園
八王子市	高尾山若葉まつり	2024年4月～5月	清滝駅 (ケーブルカー)
八王子市	高尾山もみじまつり	2024年10月～12月	清滝駅 (ケーブルカー)
八王子市	八王子花火大会	2024年7月	富士森公園
八王子市	八王子まつり	2024年8月	西放射線ユーロード



Open Street Map
より作成

1 - 2. 各イベントについてわかったこと

地域	イベント名	イベント関連スポット・エリア	来訪者の発地からみた特性	周辺スポットへの影響
中央区	べったら市	宝田恵比寿神社、梶森神社	近隣集客型イベント	影響が見られなかった
	つきじ獅子祭	波除神社	近隣集客型イベント	影響が見られなかった（ただし築地場外からの誘客促進の余地あり）
港区	麻布十番納涼祭り	麻布十番商店街	近隣集客型イベント	—
	新橋こいち祭り	新橋飲み屋街	近隣集客型イベント	影響が見られた
	泉岳寺義士祭	泉岳寺	中長距離集客型イベント （通常に比べ40Km以上からの来訪者増加）	—
	みなと区民祭り・浜祭り	増上寺、都立芝公園	みなと区民祭り：近隣集客型イベント 浜祭り：中長距離集客型イベント （40km以上からの来訪者割合も増加）	—
台東区	三社祭	浅草エリア	近隣集客型イベント	影響が見られた
	隅田川花火大会	隅田川花火大会 観覧者集計エリア	中長距離集客型イベント （通常に比べ40Km以上からの来訪者増加）	影響が見られた
墨田区	隅田川花火大会	墨田区全体	中長距離集客型イベント （40km以上からの来訪者割合も増加）	影響が見られた （ <u>打上場所に近いスポットのみ</u> ）
	大相撲本場所 （両国国技館）	両国国技館	—	影響が見られた
	墨堤さくらまつり	墨田区立墨田公園	中長距離集客型イベント （40km以上からの来訪者割合も増加）	影響が見られた
	八王子市	高尾山若葉まつり	清滝駅	中長距離集客型イベント ※中長距離の来訪者増がまつり要因かは断言しにくい
高尾山もみじまつり		清滝駅	中長距離集客型イベント （40km以上からの来訪者割合も増加）	影響が見られなかった
八王子花火大会		富士森公園	近隣集客型イベント	影響が見られた
	八王子まつり	西放射線ユーロード	近隣集客型イベント	影響が見られなかった

2-1-1. 中央区の例～べったら市

開催日程 2024年10月19日(土)～20日(日)
 注目スポット 宝田恵比寿神社、梶森神社

図1 梶森神社
 日別来訪者数 (10/3～10/31)

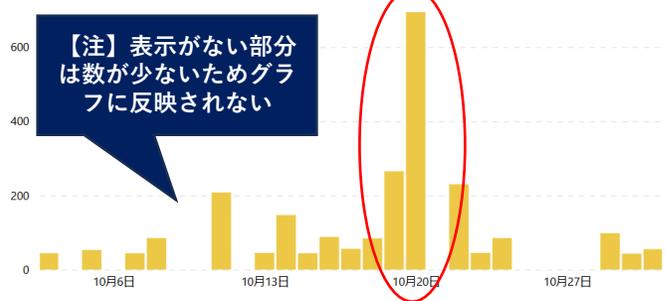


図2 宝田恵比寿神社
 日別来訪者数 (10/1～10/30)

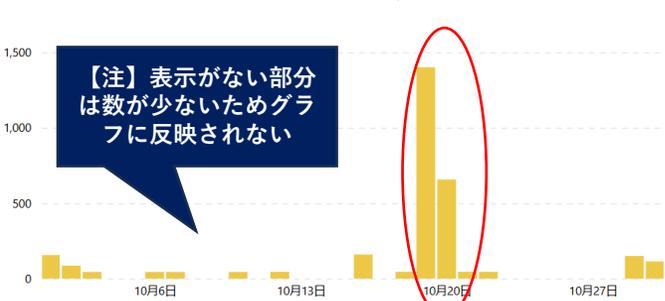
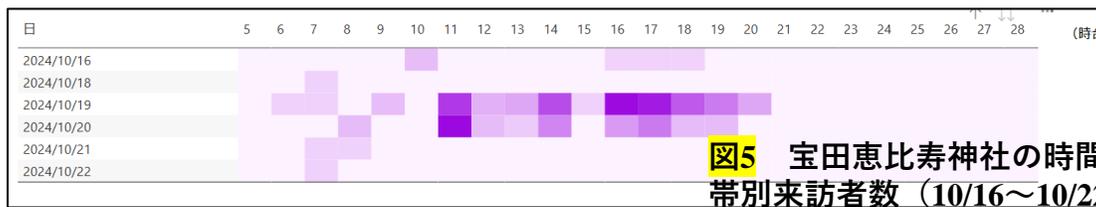
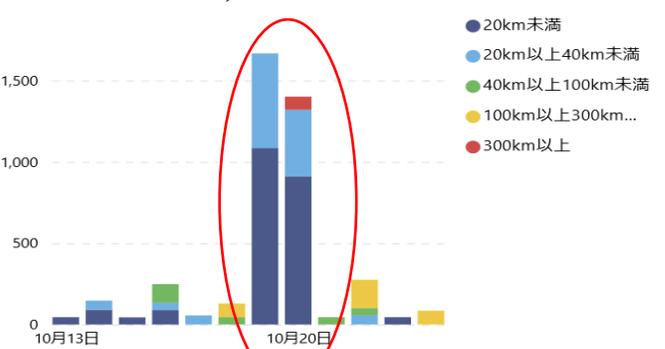


図3 両神社の発地との距離別来訪者数 (10/13～10/24)



当該スポットに対する効果

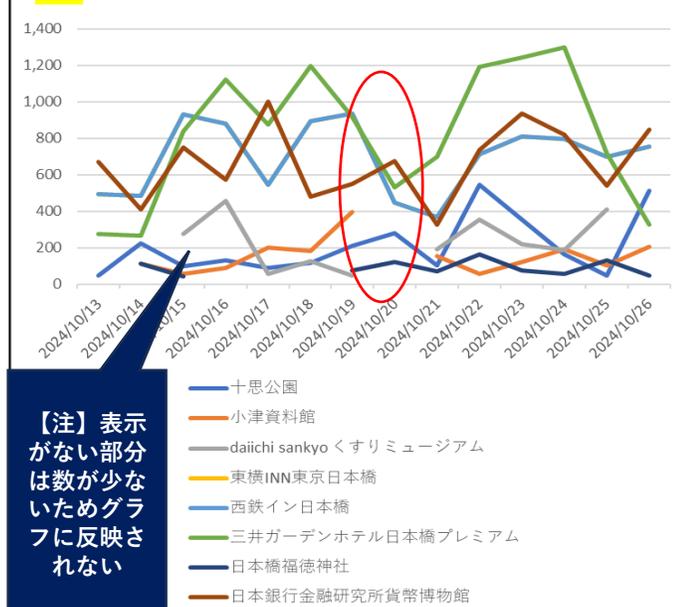
図1、図2に示すように、両神社ともイベント開催日に来訪者数の圧倒的なピークが確認できており、単純にイベントによる集客効果が発現していると考えられます。 イベントでは期間限定の御朱印配布や祭りがあり、このことも来訪者数増加に寄与している可能性があります。

図3で両神社への来訪者の発地分布を確認すると、イベント開催の2日間では、20km未満の来訪者数が7割程度を占めるなど、40km未満からの来訪者数がほとんどである ことが見て取れます (10月20日を含め、40km以上からの来訪者も観測されていますが、ベースデータの特徴から考えて、その統計的信頼性は高くない)。このことから両神社は区内や首都圏の住民が主として訪問するスポットであり、このイベントは【近隣集客型イベント】であると判断できます。

時間分析の機能を使用して、両神社の時間帯別来訪者数を確認したものが図4、図5です。梶森神社は来訪者が比較的に13～14時頃に集中している傾向が確認できますが、宝田恵比寿神社は11時から19時にかけて来訪者数が多いことが伺えます。宝田恵比寿神社は、梶森神社よりは日本橋中心部に近く、夜には大提灯を始め多くの提灯があたりを彩るとのことで、このことが長時間にわたる来訪者数の増加に寄与していた可能性があります。

旅程分析の機能を使用して、イベント両日の両神社来訪者の前後訪問スポットを確認したところ、ターミナル駅や周辺商業施設との連動性が高い可能性が伺えたものの、観測数が大きくなく、有意な傾向は見られませんでした。 (図は省略)

図6 周辺スポットの日別来訪者数(10/13-10/26)



周辺スポットに対する効果

図6の通り、イベントが周辺スポットの来訪者数増減に与えた影響は見られません。周辺スポットは宿泊施設や博物館が多いですが、イベントの連動性は高くなかったことが伺えます。 これは図3から分かる通り来訪者のほとんどが近隣からであることと関係していると言えます。

2-2-1. 港区の例～麻布十番納涼祭り

開催日程 2024年8月24日(土)～25日(日)
 注目スポット 麻布十番商店街

年月日	曜日	祝日	来訪者数
2024/08/24	土		35,749
2024/08/25	日		31,275
2024/08/23	金		15,246
2024/08/17	土		13,919
2024/08/22	木		13,395
2024/08/21	水		12,627
2024/08/28	水		12,576
2024/08/26	月		12,215
2024/08/29	木		12,130
2024/08/19	月		11,778
2024/08/31	土		11,720
2024/08/20	火		11,462
2024/08/27	火		11,363
合計			233,772

図1 日別来訪者数ランキング (2024 8.17~9.1)

図1は麻布十番商店街の祭り当日と前後1週間の来訪者数を比較しています。**当日の24日、25日の来訪者数はいずれも3万人を超え、2024年で最多であり、イベントの直接効果はある**と考えられます。また、図2からは、**イベントによって顕著に比率が増加した距離帯は確認できず、そのほとんどが20Km未満からの来訪者であることが分かり、このことから【近隣集客型イベント】であると考えられます。**図3からは、当イベントは15:00~21:00に開催され、他の時間帯に比べて多くの人を訪れており、特に16~18時台は顕著であることがより読み取れ、時間分析機能の有効性が伺えます。



図3 時間帯別来訪者数 (2024 8.23~8.26)

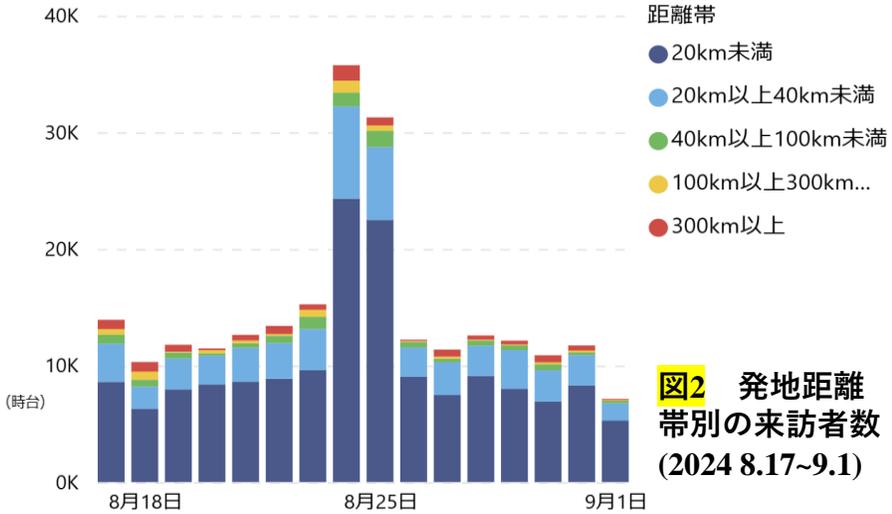


図2 発地距離帯別の来訪者数 (2024 8.17~9.1)

2-2-2. 港区の例～新橋こいち祭り

開催日程 2024年7月25日(木)～26日(金)
 注目スポット 新橋飲み屋街

参考：新橋駅西口広場

年月日	曜日	祝日	来訪者数
2019/07/26	金		151,962
2019/07/19	金		143,633
2019/08/02	金		131,212
2019/07/25	木		124,182
2019/07/18	木		119,923
2019/07/24	水		119,470
2019/07/30	火		113,994
2019/07/31	水		113,281
2019/08/01	木		110,697
2019/07/23	火		110,529
2019/07/29	月		101,526
2019/07/22	月		97,099
2019/07/20	土		68,228
合計			1,656,931

半減

年月日	曜日	祝日	来訪者数
2024/07/26	金		88,025
2024/07/19	金		81,626
2024/08/02	金		73,807
2024/07/25	木		70,046
2024/07/24	水		65,084
2024/08/01	木		63,224
2024/07/18	木		61,859
2024/07/23	火		61,378
2024/07/31	水		60,721
7/30			59,317
7/29			50,547
7/22			48,026
7/27			48,223
合計			934,033

図4 日別来訪者数ランキング (7.18~8.2 上：2019年下：2024)

図4は新橋飲み屋街の祭り当日と前後1週間の来訪者数を2019年と比較しましたが、2024年は来訪者数が半減しています。また、図5からは、**1週間前と比較しても、イベント期間に顕著に遠方からの来訪者が増えるといった傾向は確認できませんでした。**

図6は祭りのメイン会場である新橋飲み屋街に近い「新橋駅西口広場」の時間帯別来訪者数を、祭りの1週間前と比較したものです。**祭り期間である7月25日・26日は、1週間前の通常の木・金曜日よりも、17時～20時台の来訪者が特に増加しており、新橋飲み屋街の祭りの影響が考えられます。**

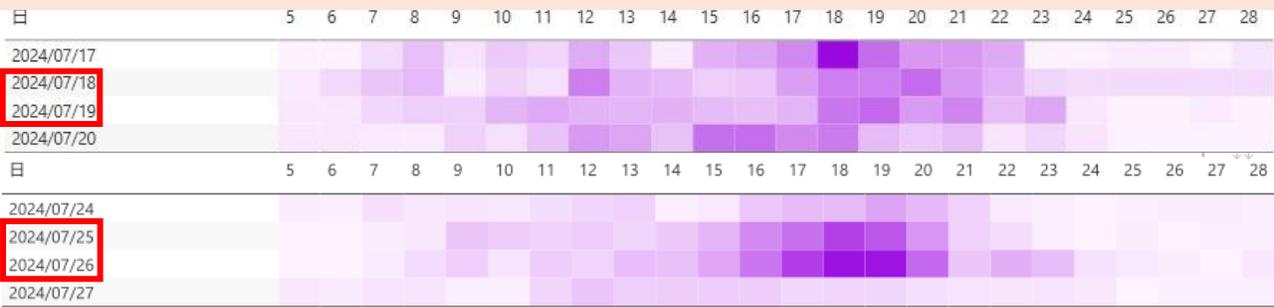


図6 新橋駅西口広場時間帯別来訪者数 (上：2024.7.17~20※祭り前 下：2024.7.24~27)

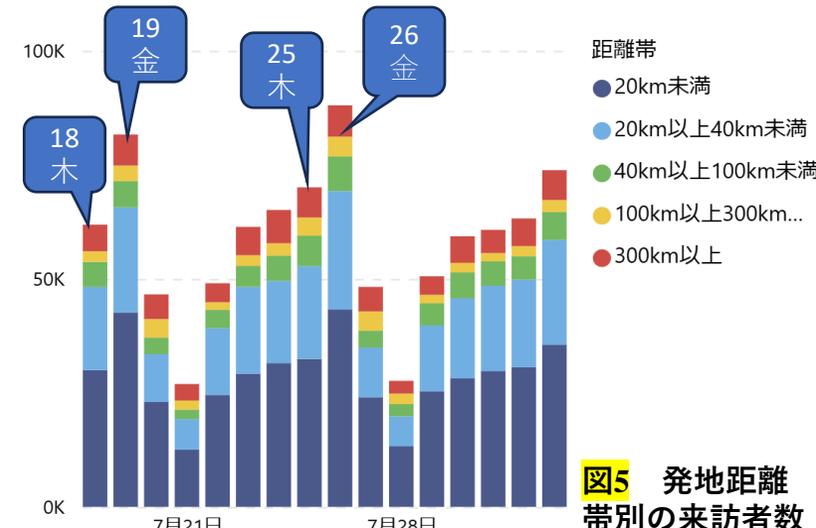


図5 発地距離帯別の来訪者数 (2024 7.18~8.2)

2-2-3. 港区の例～泉岳寺義士祭

開催日程 2024年12月13日(金)～15日(日)
注目スポット 泉岳寺

年月日	曜日	祝日	来訪者数
2024/12/14	土		14,157
2024/12/15	日		2,703
2024/12/13	金		2,281
2024/12/12	木		1,016
2024/12/17	火		1,008
2024/12/10	火		873
2024/12/08	日		846
2024/12/21	土		842
2024/12/22	日		795
2024/12/18	水		793
2024/12/16	月		735
2024/12/09	月		702
2024/12/07	土		696
合計			29,308

図1は泉岳寺の祭り当日と前後1週間の来訪者数を比較しています。祭りの最大の見どころは、12月14日15:30頃から行われる義士行列であり、当日の来訪者数は群を抜いて多く、図2下に示すように、該時間帯の来訪者数も群を抜いて多くなっています。また、図3からは14日は40km～300km以上の距離帯からの来訪者数も多いことが見て取れ、広域からも集客力があるイベントである可能性が伺えます。図2は近隣の高輪ゲートウェイ地区の時間帯別来訪者を、祭期間中(上)、祭の一週間前(下)と比較したものです。この図によれば、祭り期間中であっても時間帯別の来訪者数には大きな変化がなく、高輪ゲートウェイ地区には祭りによる来訪者の変化は見られなかったと考えられます。あくまで推測ですが、祭りの来訪者の多くは地下鉄泉岳寺駅を利用していた可能性も考えられます。

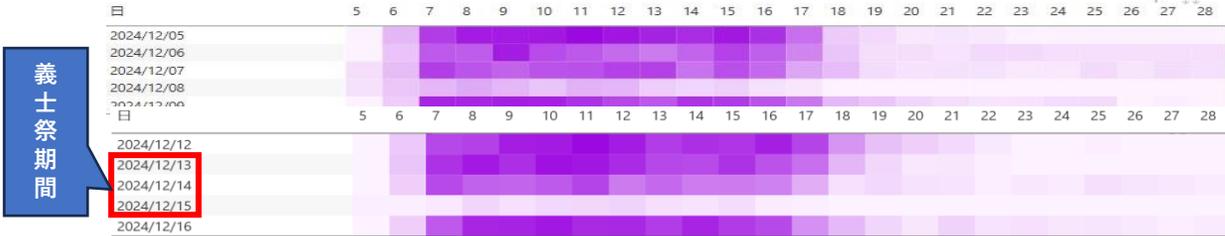


図2 高輪ゲートウェイ地区時間帯別来訪者数 (上: 2024 12.5~12.9 下: 12.12~12.16)

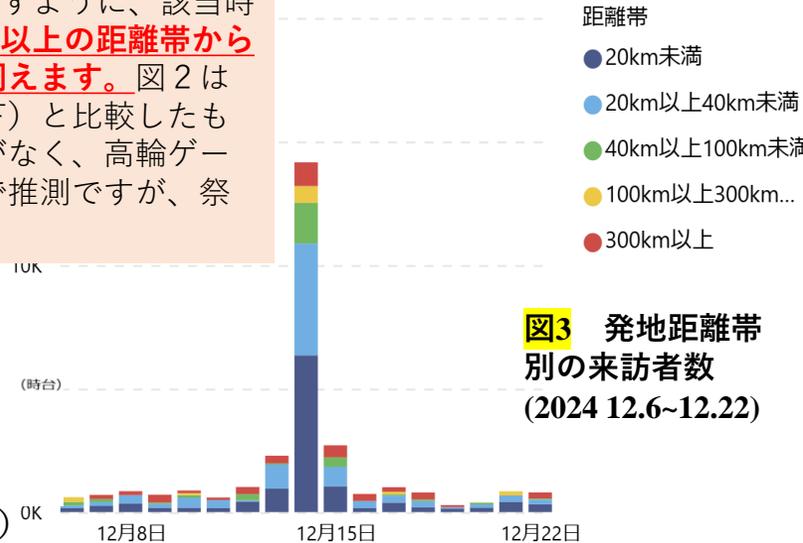


図3 発地距離帯別の来訪者数 (2024 12.6~12.22)

図1 日別来訪者数ランキング (2024 12.6~12.22)

2-2-4. 港区の例～みなと区民祭り・浜祭り

開催日程 2024年10月12日(土)～13日(日)、11月4日(月・祝)
注目スポット 増上寺・都立芝公園

年月日	曜日	祝日	来訪者数
2024/10/11	金		9,168
2024/10/10	木		9,147
2024/11/03	日	文化の日	8,940
2024/10/12	土		8,592
2024/10/30	水		7,790
2024/10/15	火		7,297
2024/10/13	日		6,661
2024/10/16	水		6,297
2024/10/31	木		6,135
2024/11/07	木		5,799
2024/11/09	土		5,582
2024/10/19	土		5,070
2024/10/25	金		4,883
合計			177,631

図4は増上寺と都立芝公園の祭り当日と前後1週間の来訪者数を示しています。11月4日の浜祭りでは増上寺でラジオの公開生放送を行っており、同日の来訪者数が顕著に多く、区民祭りの両日も他の日よりは来訪者数が多く、イベント効果が確認できます。一方、都立芝公園は両イベント開催日前日の方の来訪者数が多く、設営の人員を多く捕捉している可能性があります。図5ではイベント時間帯+前後1時間に多くの来訪者数が捕捉されていることが見て取れます。また、図6の発地自治体を確認すると、みなと区民祭りでは港区をはじめ区部が中心ですが、増上寺でラジオの公開生放送があった浜祭りでは埼玉県や千葉県などが加わり、より広域から集客していることが伺えます。

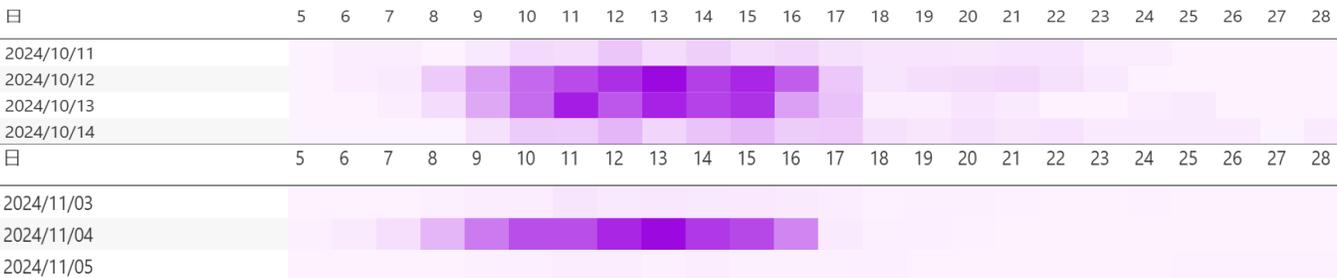


図5 時間帯別来訪者数 (2024年増上寺 上: 10.11~10.14、下: 11.3~11.5)

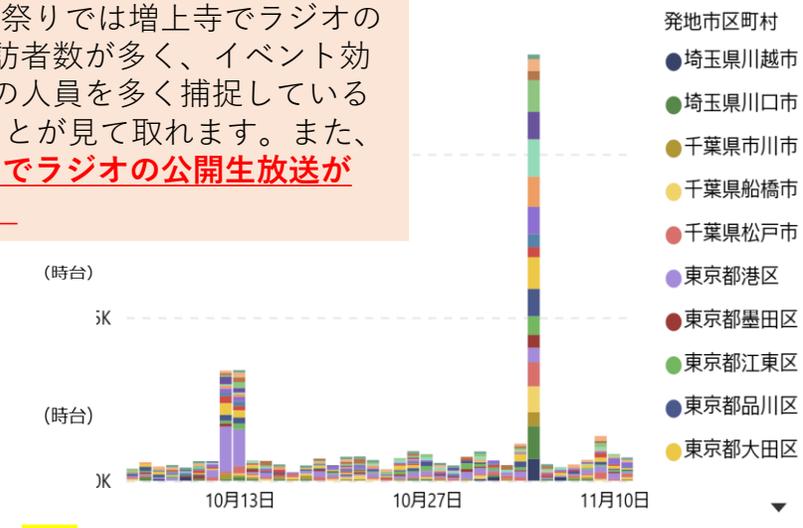


図6 発地自治体別の増上寺来訪者数(2024 10.05~11.11)

図4 日別来訪者数ランキング (2024 10.5~11.11 上: 都立芝公園、下: 増上寺)

2-3-1. 台東区の例～三社祭

開催日程 2024年5月17日(金)～19日(日)
 注目スポット 浅草エリア

日別ランキング

年月日	曜日	祝日	来訪者数
2024/05/18	土		137,349
2024/05/19	日		136,699
2024/05/26	日		88,775
2024/05/25	土		87,960
2024/05/11	土		85,379
2024/05/12	日		80,377
2024/05/17	金		67,699
2024/05/24	金		60,965
2024/05/15	水		54,558
2024/05/10	金		53,150
2024/05/16	木		50,373
2024/05/23	木		48,946
2024/05/14	火		48,711
合計			1,166,060

日別分析

図1は三社祭開催日と前後一週間の浅草エリアの来訪者数を比較しています。祭り期間中の5月18日(土)と19日(日)は、**同エリアで年間1位と2位の来訪者数を記録**しており、その翌週との差である5万人程度が祭りの効果と言えるでしょう。

図2は図1と同期間における発地からの距離帯別の来訪者数を示しています。遠距離からの来訪者も増えているものの、割合としては**40km未満の距離帯の来訪者の比率が増加していることが伺え、三社祭はより近距離からの集客に力を発揮するイベントであると判断できそうです。【近隣集客型イベント】**

図1 2024年5月10日～26日の日別来訪者数ランキング

図2 2024年5月10日～26日の発地との距離帯別来訪者数

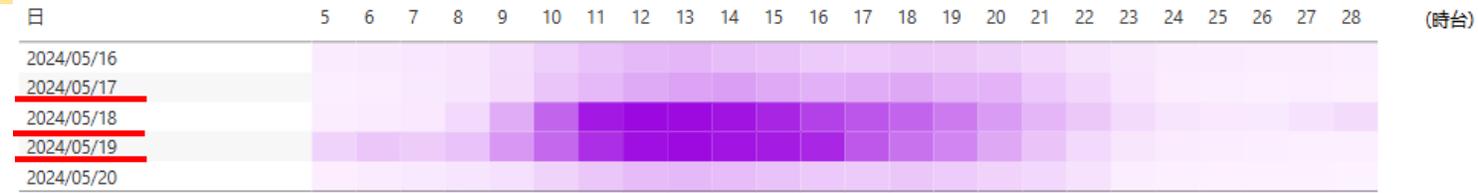
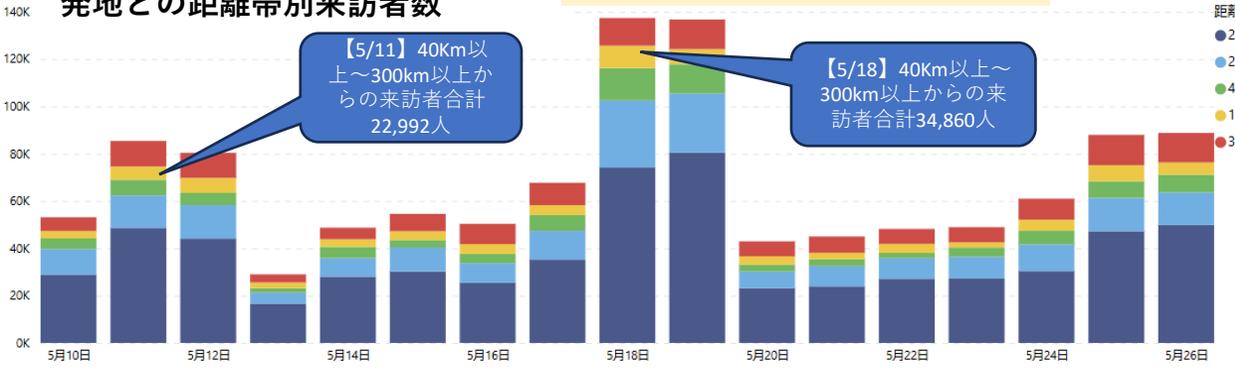
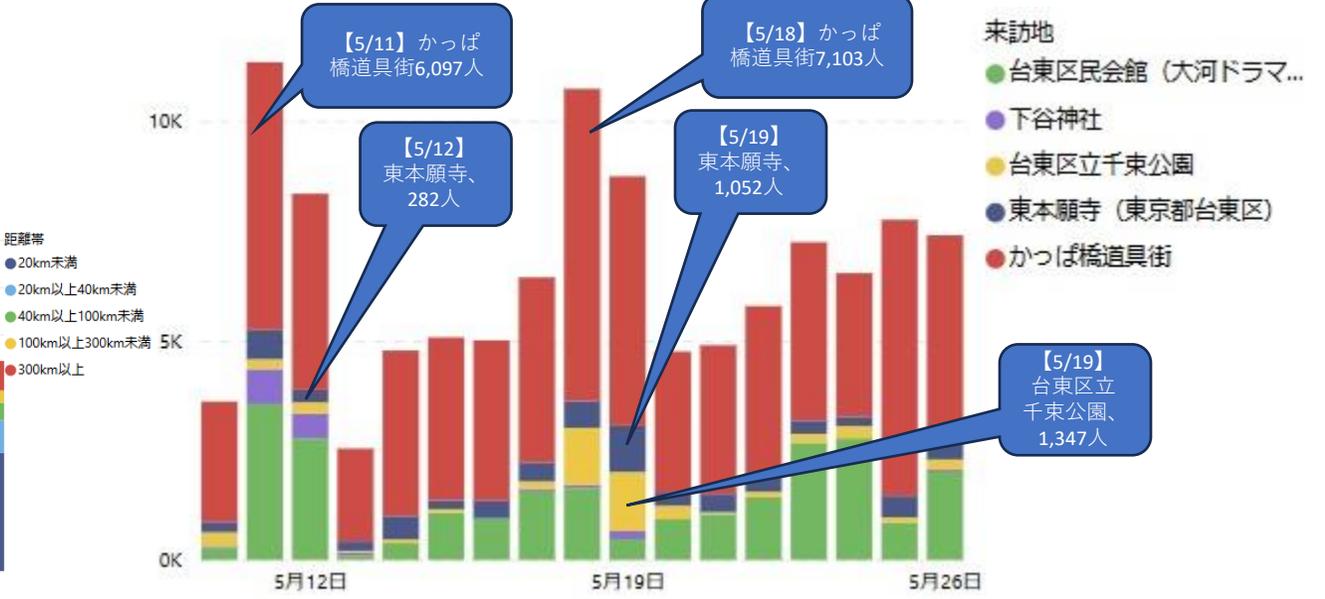


図3 2024年5月16日～20日の時間帯別来訪者数

時間帯別分析

図3は三社祭開催期間と前後1日間の時間帯別来訪者数を比較しています。17日には10時から例大祭式典が組まれ、9時頃から来訪者数が大きく増加し始めている様子、18日には6時半から宮出しが行われたため5時台から来訪者数が早くも増加し始めた様子が見て取れます。両日も来訪者数は21～22時台まで前後日より多くなっており、**賑わいが長時間継続していた**ことが伺えます。

図4 2024年5月10日～26日の浅草エリアおよび周辺スポットの来訪者数

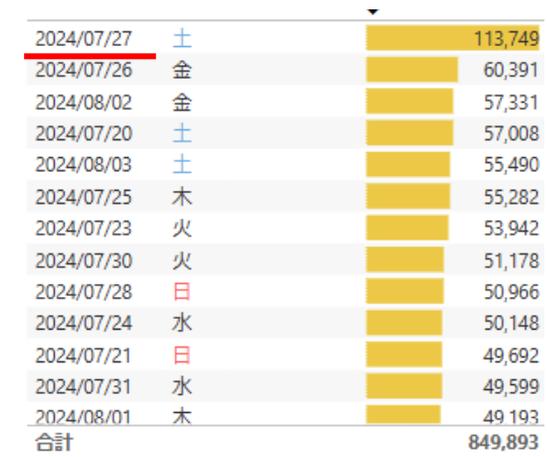


周辺スポット分析：図4は、周辺スポット（台東区民会館、下谷神社、台東区立千束公園、東本願寺、かっぱ橋道具街）の三社祭開催日と前後1週間の来訪者数です。東本願寺と台東区立千束公園は19日（日）が、2024年1年間を通じて最大の来訪者数となっていました。**この2スポットに関しては、三社祭来訪者がこれら周辺スポットも同時に訪問していた可能性がある**と考えられます。かっぱ橋道具街も、祭当日の5月18日（土）は7,103人と1週間前の5月11日（土）と比べると来訪者が100人ほど増加していますが、年間を通じて土日は来訪者が多い傾向にあり、三社祭の影響を直接受けているとは断言できません。なお、上野駅に近い下谷神社については影響が見られず、上野エリアまで人が流れていない可能性が高いです。

2-3-2. 台東区の例～隅田川花火大会

開催日程 2024年7月27日(土)
 注目スポット 隅田川花火大会観覧者集計エリア

図1 2024年7月20日～8月3日の日別来訪者数ランキング



日別分析

図1は花火大会当日である7月27日と前後一週間の来訪者数を比較しています。**27日は来訪者数が（同スポットで）2024年で最大を記録しており、前後と比較して6万人程度の差があり、これがイベント効果と捉えられる**のかもしれませんが。ちなみに、この集計エリアでは、桜のシーズン、三社祭開催日、秋の行楽シーズンなどで多くの来訪者数が記録されています。

図2は図1と同期間における発地からの距離帯別の来訪者数を示していますが、**開催日には40km以上からの来訪者数が増加しており、隅田川花火大会はより遠隔地からの集客が期待できるイベントであると言えます。**

図2 2024年7月20日～8月3日の発地との距離帯別来訪者数

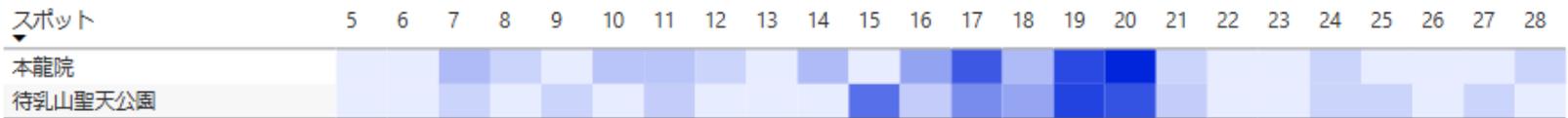
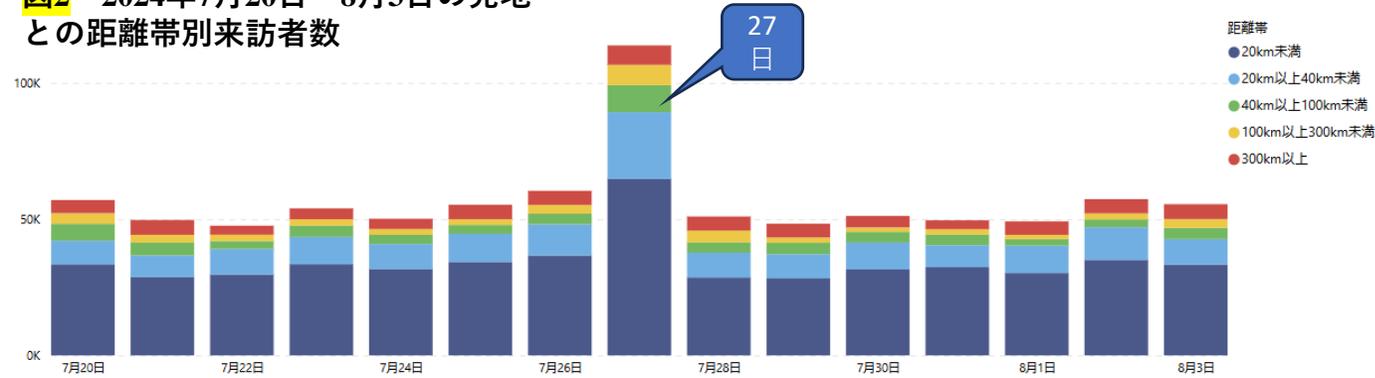


図5 2024年7月27日の周辺スポットの来訪者数時間帯別比率

周辺スポット分析：周辺スポットとして、大会当日に前後一週間の間で最大の来訪者数となっていた本龍院と待乳山聖天公園に着目しました。図5に同日の来訪者数の時間帯別比率を示しますが、集計エリアと同様の傾向を示していたため、花火大会の影響で来訪者が滞在していた可能性が高いです。

図3 2024年7月27日の時間帯別来訪者数

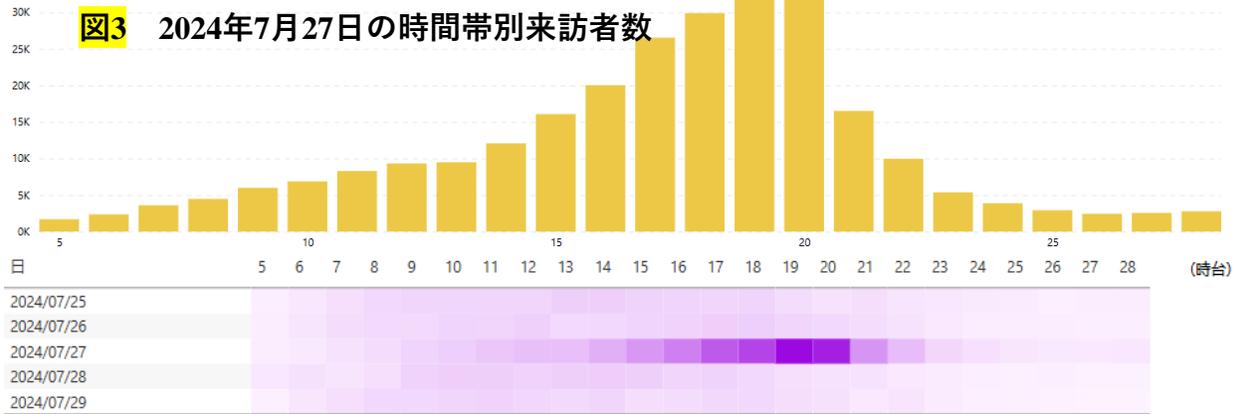
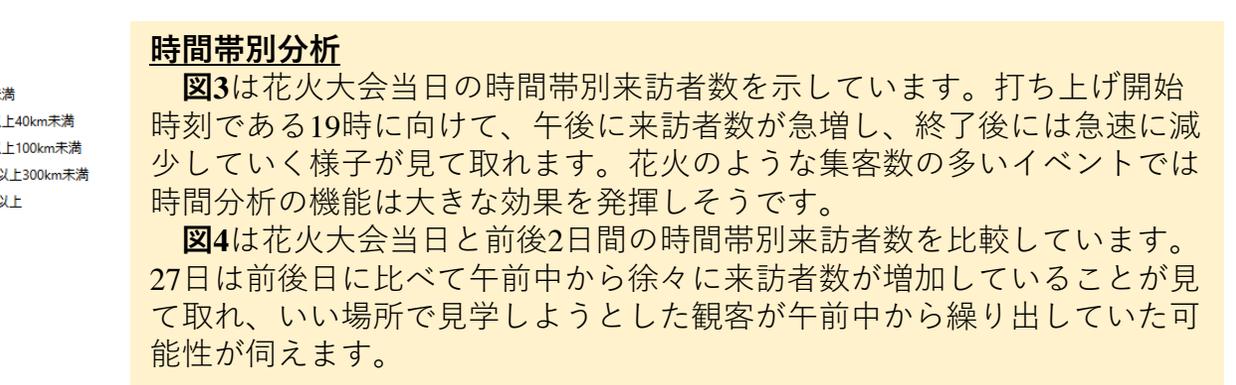


図4 2024年7月25日～29日の時間帯別来訪者数



時間帯別分析

図3は花火大会当日の時間帯別来訪者数を示しています。打ち上げ開始時刻である19時に向けて、午後に来訪者数が急増し、終了後には急速に減少していく様子が見て取れます。花火のような集客数の多いイベントでは時間分析の機能は大きな効果を発揮しそうです。

図4は花火大会当日と前後2日間の時間帯別来訪者数を比較しています。27日は前後日に比べて午前中から徐々に来訪者数が増加していることが見て取れ、いい場所で見学しようとした観客が午前中から繰り出していた可能性が伺えます。



2-4-1. 墨田区の例～隅田川花火大会

開催日程 2024年7月27日(土)
 注目スポット 墨田区全体

スライド8(2-3-1)に引き続き、隅田川花火大会の影響を、墨田区全体から分析・検証します。

図1 墨田区全スポットの来訪者数(2024年7月20日～8月3日)

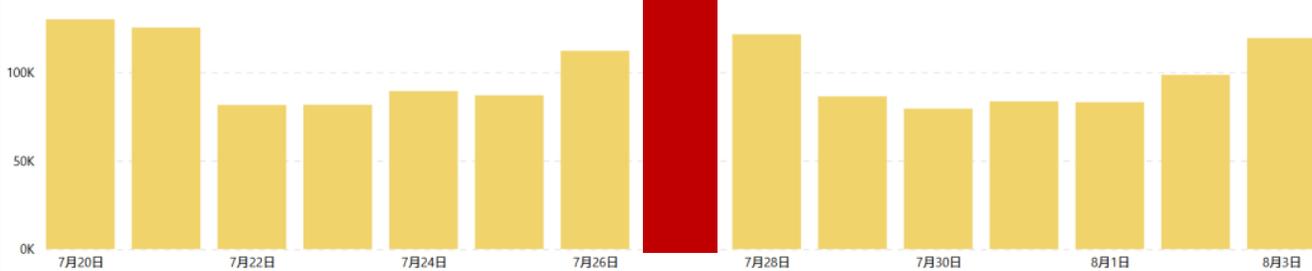


図1は花火大会前後一週間の墨田区全スポットの合計来訪者数を示しています。2024年1年間を通じた墨田区全体の来訪者数を確認したところ、7月27日は、15番目に来訪者数が多い日であり、花火大会だけが墨田区全体の来訪者数を増加させる要因ではないと考えられます。

図2は花火大会前後の土曜日を含めた区全スポットへの発地からの距離帯別来訪者数を示していますが、各距離帯の構成比に有意な差異は見られず、**花火大会が特別に区全体に遠隔地から来訪者を引き寄せるわけではない**と理解できます。

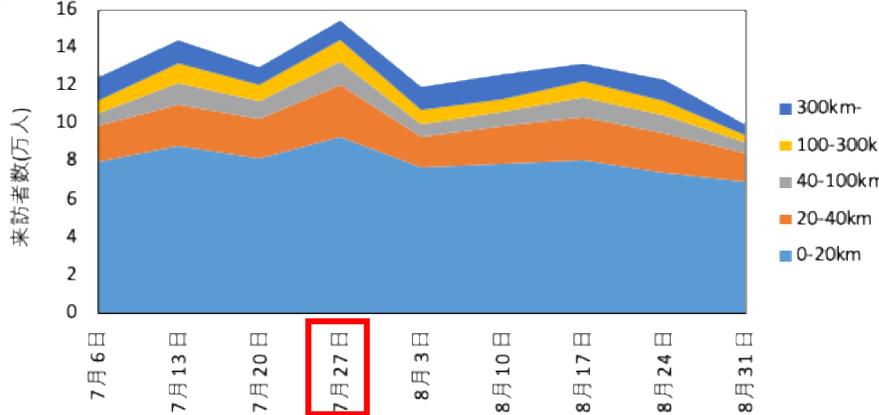


表1に下に記載した倍率計算方法で算出したスポット別倍率のうち、1.5以上となったスポットを示し、2.5倍以上のスポットについては具体的な倍率を記しています。図3に表1のスポットを地図上で表現しています。**打ち上げ場所に近いスポットの多くが2.5倍以上の倍率になっていることが見て取れます。**

以上のことから、花火大会が区内のスポットの来訪者数増加に影響するのは周辺エリアだけに限られると言えるのかもしれませんが。

図2 前後土曜日を含めた発地からの距離帯別来訪者数

表1 花火大会当日(7月27日)の来訪者数倍率の大きいスポット

4.5以上	墨田区立隅田公園	両国国技館	長命寺	
2.5-4.5	東京ミズマチ	薬師湯	大横川親水公園	東京都立横網町公園
2-2.5	江東橋公園	屏風博物館	押上温泉大黒湯	
1.5-2	両国-江戸NOREN カプセルイン錦糸町	フクシ・エンタープライズ 東白鬚公園	ホテルマイステイズ浅草 東武ホテルレバント東京	相鉄フレッサイン東京錦糸町 両国湯屋江戸遊 墨田区立若宮公園

倍率計算方法
 各スポットで当日(7/27)と前後土曜日(7/20・8/3)の来訪者数を比較し、**当日の来訪者数は前後の土曜日の平均値に比べ何倍かを算出しました。**

東京ミズマチ	薬師湯	大横川親水公園	東京都立横網町公園	墨田区立隅田公園	両国国技館	長命寺
3.2	3.5	3.7	3.9	4.9	6.2	10.8



図3 花火大会当日の来訪者数倍率が大きいスポットの位置

両国国技館が●となっているのは、WWE SuperShow Summer Tourというプロレスの大会が5年ぶりに開催されたことが影響していると考えられます。

2-4-2. 墨田区の例～大相撲本場所 (両国国技館)

開催日程 2024年1月14日(日)～28日(日)、5月12日(日)～26日(日)、9月8日(日)～22日(日) 注目スポット 両国国技館

図1 両国国技館の2024年の日別来訪者数



図1は両国国技館の2024年の日別来訪者数を示しています。年3回の大相撲開催だけで約半数の来訪者を獲得していますが、**両国国技館としては12月に来訪者数のピークが確認されています。**他の休日にも音楽イベント等が開催されており、その都度来訪者が増加しているため、**イベントごとの来訪者属性(年代や性別等)に注目すると、周辺エリアへの回遊施策の考察に役立つかもしれません。**

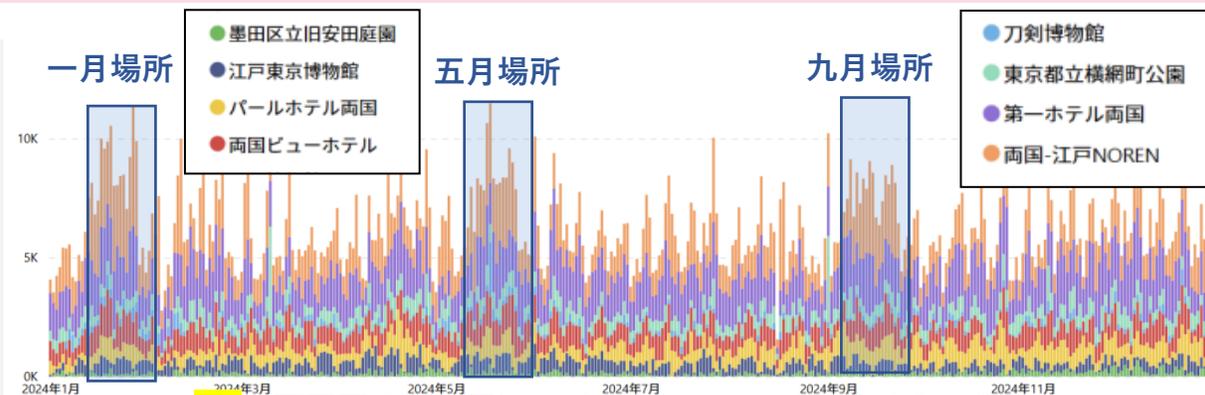


図2 両国国技館の周辺スポットの2024年の日別来訪者数

図2は両国国技館の周辺スポットの2024年の日別来訪者数を示しています。対象とした8スポットの平均日來訪者数が6,287人に対して、一月、五月、九月場所の平均日來訪者数がそれぞれ8,847人、8,532人、7,962人であり、**本場所開催期間の周辺スポットの来訪者数は増加する傾向があると言えます。**相撲観覧者の行動を把握し、地域への波及効果を狙うためにも、周辺の飲食店街などをモニタリングするとより効果的なエリアへの集客策を考えられる可能性があります。

2-4-3. 墨田区の例～墨堤さくらまつり

開催日程 2024年3月16日(土)～4月14日(日) 注目スポット 墨田区立隅田公園

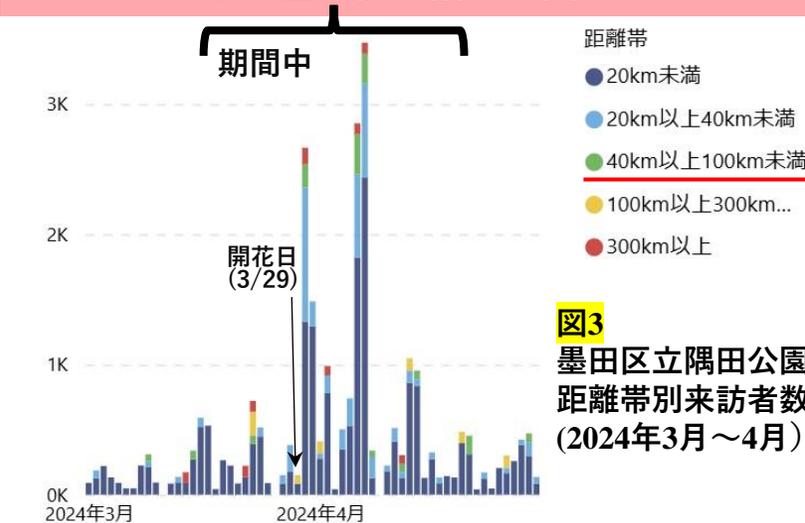


図3 墨田区立隅田公園 距離帯別来訪者数 (2024年3月～4月)

図3は祭り期間を含む3月1日～4月30日の墨田区立隅田公園の発地別来訪者数を示しています。開花日が3月29日であったことから、その週末と次の週末の来訪者数が多くなっており、**40Km以上100km未満からの来訪者も増えていることが分かり、一定程度遠方からの集客力もあることが伺えます。**

図4は開花後の2つの週末でのまつり会場周辺スポットの来訪者数を示していますが、多くが商業施設があるエリアに集中していることが見て取れます。図5は、さくらまつり1か月前の土日と、まつり期間中の土日の、周辺スポットの属性を比較したものです。これを見ると、**まつり期間中は、幅広い年代が周辺スポットへ来訪していることが分かり、お花見が性年代を問わないコンテンツであり、周辺スポットの来訪者属性にも影響していることがわかります。**



図4 3/30～31, 4/6～7の祭り会場近隣スポットの合計来訪者数



図5 まつり会場近隣スポットの性年齢階級別合計来訪者数の比較 (左: 3月2日～3日) (右: 4月6日～7日)

2-5-1. 八王子市の例～高尾山若葉まつり

開催日程 2024年4月13日(日)～5月19日(日)
 注目スポット 清滝駅 (ケーブルカー)

年月日	曜日	祝日	来訪者数
2024/05/04	土	みどりの日	2,045
2024/04/11	木		1,612
2024/04/20	土		1,435
2024/04/14	日		1,427
2024/04/28	日		1,302
2024/05/11	土		1,216
2024/04/13	土		1,099
2024/05/03	金	憲法記念日	1,082
2024/05/18	土		1,037
2024/05/05	日	こどもの日	1,024
2024/05/26	日		1,018
2024/04/21	日		990
2024/04/07	日		906
合計			34,994

図1 2024年4～5月の清滝駅の日別来訪者数ランキング

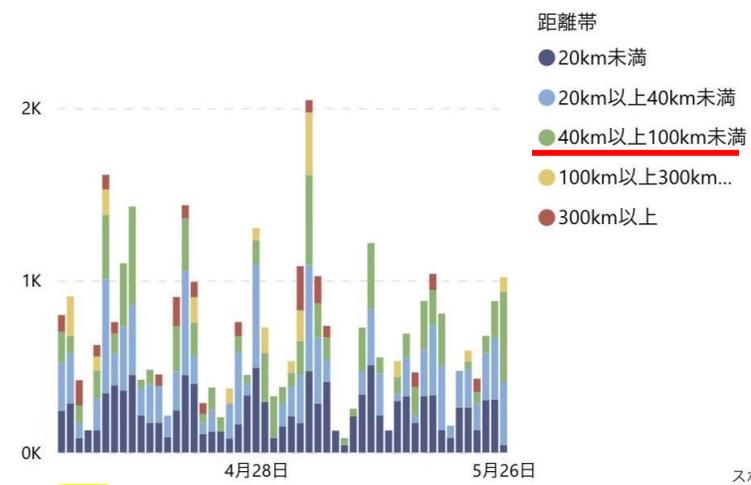


図2 2024年4～5月の清滝駅の発地からの距離帯別来訪者数

図1は2024年4～5月の清滝駅の日別来訪者数ランキングを示しており、連休後半の5月4日が最大の来訪者数であったことがわかります。上位10位までは金曜日を含めた週末となっています。図2は同期間の清滝駅の発地からの距離帯別来訪者数を示しています。平日と比べて週末は40km以上の距離帯からの来訪者も増加傾向を示しています。**ただし、これはまつり期間だけでなく通年で見られる傾向のため、まつりを目的に遠方からより多くの来訪者が来ているとは考えにくいと思われます。**

図3は、周辺スポットであるTAKAO599ミュージアムと、清滝駅について5月4日の時間帯別の来訪者数を示しています。清滝駅はどの期間も10時頃が来訪者がピーク時間帯でしたが、TAKAO599MUSEUMは13時から16時がピークで傾向が異なり、登山者が帰りに立ち寄っている可能性があります。ただし、若葉まつりとの直接的な関係性は断言できません。(地図はスライド3参照)

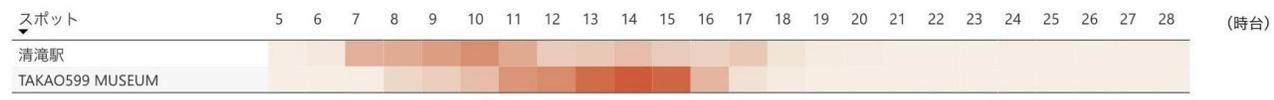


図3 清滝駅と周辺スポットの時間帯別来訪者数(5月4日)

2-5-2. 八王子市の例～高尾山もみじまつり

開催日程 2024年10月26日(土)～12月8日(日)
 注目スポット 清滝駅 (ケーブルカー)

年月日	曜日	祝日	来訪者数
2024/11/24	日		3,359
2024/11/30	土		3,115
2024/11/25	月		3,045
2024/11/23	土	勤労感謝の日	3,027
2024/11/03	日	文化の日	2,596
2024/11/17	日		2,544
2024/11/09	土		2,519
2024/12/01	日		2,442
2024/11/29	金		2,026
2024/11/28	木		1,984
2024/12/08	日		1,901
2024/12/07	土		1,759
2024/11/04	月	休日	1,699
合計			69,348

図4 祭り前後を含めた期間の西放射線ユーロードの日別来訪者数ランキング

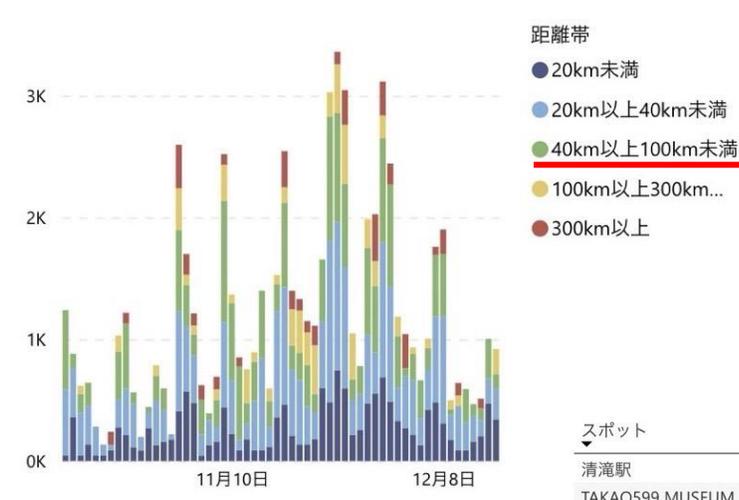


図2 祭り前後を含めた期間の清滝駅の発地からの距離帯別来訪者数

図1はまつり前後を含めた期間の清滝駅の日別来訪者数ランキングを示しており、**春開催の若葉まつりと比べて来訪者数が1.5倍程度増加しています。**来訪者数最多の11月24日を含め上位4位までは紅葉のピークであったと考えられます。

図2は同期間の清滝駅の発地からの距離帯別来訪者数を示しています。**若葉まつりよりも全体的に40km以上の距離帯からの来訪者が多く確認でき、高尾山は紅葉シーズンにより遠方からの来訪者が来ていることを示しています。**

図3は、若葉まつりと同様に、周辺スポットであるTAKAO599ミュージアムと清滝駅の11月24日の時間帯別の来訪者数を示していますが、若葉まつりの期間と同様に直接的な関係性は断言できません。

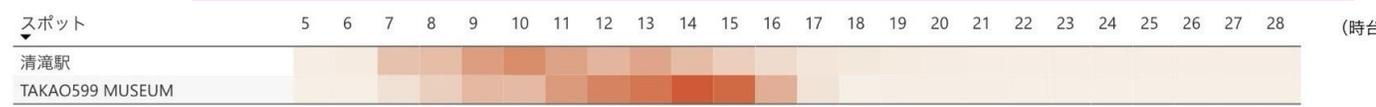


図3 清滝駅と周辺スポットの時間帯別来訪者数(11月24日)

2-5-3. 八王子市の例～八王子花火大会

開催日程 2024年7月27日(土)
注目スポット 富士森公園

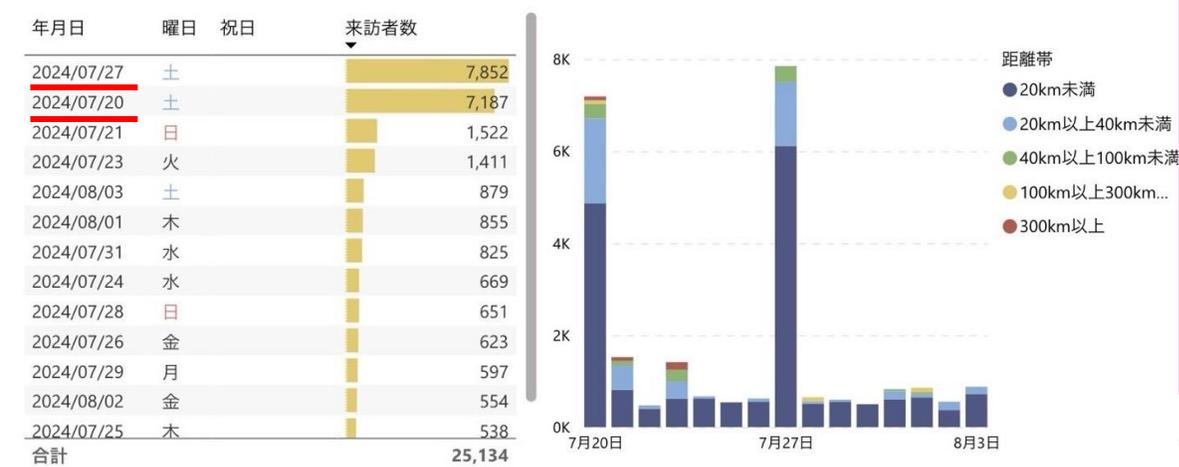


図4 花火大会前後の富士森公園の日別来訪者数ランキング

図5 花火大会前後の富士森公園の発地からの距離帯別来訪者数

図4は花火大会前後の富士森公園の日別来訪者数ランキングを示していますが、このグラフから、**大会開催日の7月27日だけでなく、スポーツイベントがあった7月20日の来訪者数も花火大会と同等となっています。**一方、イベント開催日以外の来訪者数は500人程度と大きくありません。図5は同期間の富士森公園の発地からの距離帯別来訪者数を示していますが、ほとんどが40km未満からの来訪となっており、**花火大会は集客力はあるものの、遠距離からの誘客は難しい施設（イベント）であり、【近隣集客型イベント】と言えます。**図6は花火大会の1週間前、7月20日と花火大会当日の7月27日の周辺スポット（アパホテル西八王子）の時間帯別来訪者数を示しています。27日の花火大会開催時間中はホテルの来訪者が減り、21時頃から増えているため、イベントは近隣からの来訪者がほとんどではありますが、花火のために周辺の宿泊施設を利用した可能性もありそうです。

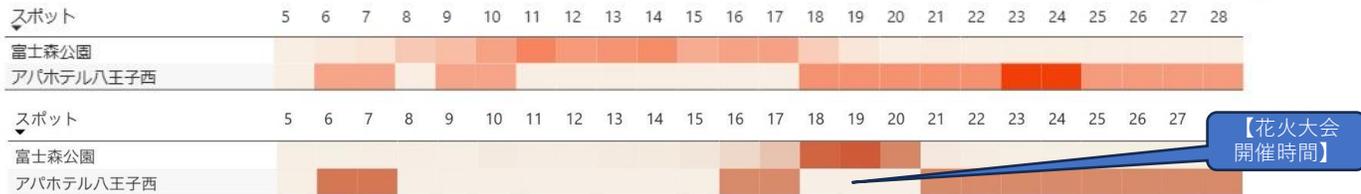


図6 富士森公園とアパホテル西八王子の時間帯別来訪者数(上：7月20日／下：7月27日)

2-5-4. 八王子市の例～八王子まつり

開催日程 2024年8月2日(金)～4日(日)
注目スポット 西放射線ユーロード

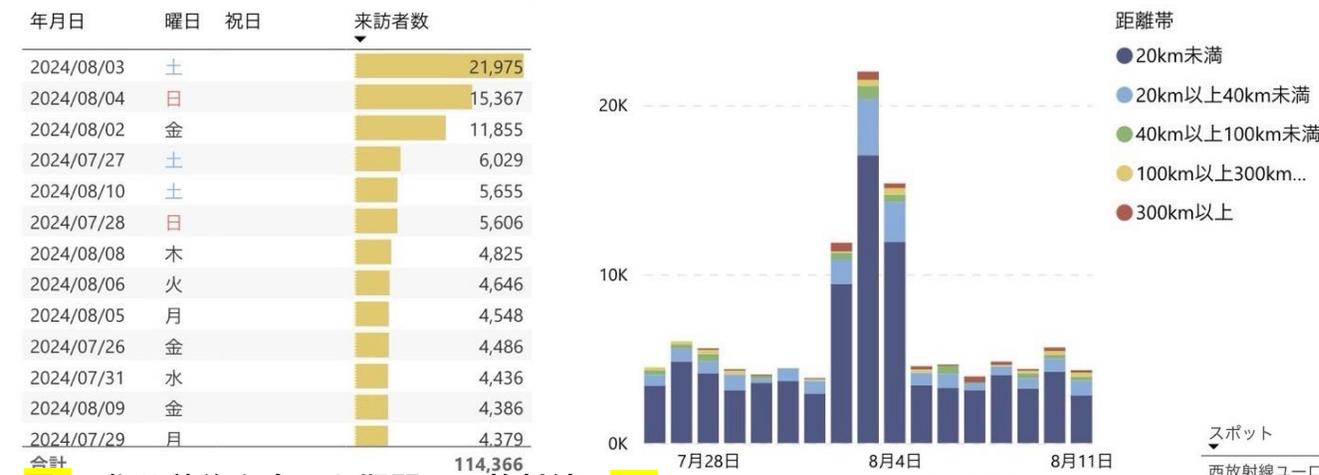


図4 祭り前後を含めた期間の西放射線ユーロードの日別来訪者数ランキング

図5 祭り前後を含めた期間の西放射線ユーロードの発地からの距離帯別来訪者数

図4は祭り前後を含めた期間の西放射線ユーロードの日別来訪者数ランキングを示しており、祭り開催の3日間は他と比べて圧倒的の来訪者数が増えています。同じ土曜日で比較すれば、祭りにより15,000人程度来訪者数が増加した可能性があります。図5は同期間の西放射線ユーロードの発地からの距離帯別来訪者数を示しています。**祭りの3日間を含めて大多数が40km未満の距離帯からの来訪者であり、【近隣集客型イベント】であると考えられます。**図6は西放射線ユーロードの8月3日の時間帯別の来訪者数を示していますが、山車の巡行が行われる夕方の来訪者数が多くなっており、ピークを適切に捉えられている可能性があります。

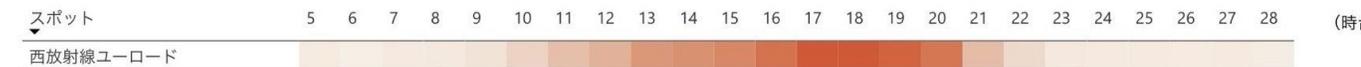


図6 西放射線ユーロードの時間帯別来訪者数(8月3日)

3.各イベントについてわかったこと

再掲

地域	イベント名	イベント関連スポット・エリア	来訪者の発地からみた特性	周辺スポットへの影響
中央区	べったら市	宝田恵比寿神社、梶森神社	近隣集客型イベント	影響が見られなかった
	つきじ獅子祭	波除神社	近隣集客型イベント	影響が見られなかった（ただし築地場外からの誘客促進の余地あり）
港区	麻布十番納涼祭り	麻布十番商店街	近隣集客型イベント	—
	新橋こいち祭り	新橋飲み屋街	近隣集客型イベント	影響が見られた
	泉岳寺義士祭	泉岳寺	中長距離集客型イベント （通常に比べ40Km以上からの来訪者増加）	—
	みなと区民祭り・浜祭り	増上寺、都立芝公園	みなと区民祭り：近隣集客型イベント 浜祭り：中長距離集客型イベント （40km以上からの来訪者割合も増加）	—
台東区	三社祭	浅草エリア	近隣集客型イベント	影響が見られた
	隅田川花火大会	隅田川花火大会 観覧者集計エリア	中長距離集客型イベント （通常に比べ40Km以上からの来訪者増加）	影響が見られた
墨田区	隅田川花火大会	墨田区全体	中長距離集客型イベント （40km以上からの来訪者割合も増加）	影響が見られた （打上場所に近いスポットのみ）
	大相撲本場所 （両国国技館）	両国国技館	—	影響が見られた
	墨堤さくらまつり	墨田区立墨田公園	中長距離集客型イベント （40km以上からの来訪者割合も増加）	影響が見られた
八王子市	高尾山若葉まつり	清滝駅	中長距離集客型イベント ※中長距離の来訪者増がまつり要因かは断言しにくい	影響が見られなかった
	高尾山もみじまつり	清滝駅	中長距離集客型イベント （40km以上からの来訪者割合も増加）	影響が見られなかった
	八王子花火大会	富士森公園	近隣集客型イベント	影響が見られた
	八王子まつり	西放射線ユーロード	近隣集客型イベント	影響が見られなかった

3. 本レポートから分かること：まとめ

今回は、東京都内5地域における複数のイベントについて、それが開催スポット自体の来訪者数や周辺スポットの来訪者数をどのくらい増加させるのかを4つの視点で確認し、イベントの効果分析に対するおでかけウォッチャーの活用可能性を検討しました。分かったことと、活用に向けたポイントは下記の通りです。

1. イベント効果を把握する方法を考える

今回は、主に①来訪者数、②距離帯別の来訪者数、③周辺スポットへの波及効果、④時間帯別の来場者数の4つの視点でイベント効果を把握しました。

さらなる活用に向けたポイント（例）

- 1) 分析でわかったことを、イベント主催者に共有することで、新たな気づき等が得られる可能性がある。
- 2) 今回の4つの分析視点以外に、どのような切り口があるのかを考える。
- 3) イベント主催者の意見も取り入れつつ、【来訪者属性】【インバウンド客の動向】など、観光の観点からイベントの性質を深掘りできるか考える。

2. 分析自治体における対象イベントの効果分析

今回の分析対象としたイベントや祭りのほとんどが、来訪者は増えるものの、来訪者の多くが近隣からであった。

さらなる活用に向けたポイント（例）

- 1) 主に地域の祭りなどは、来訪者が近隣中心になっているケースがほとんどである。この結果を受けて、観光サイドでどのように祭りを活用・活性化できるか考える。
- 2) 1)に関連し、都心部の場合、伝統的な地域の祭りにインバウンド客を誘客出来る可能性を検討する。
- 3) 周辺スポットへの波及効果を測りたい場合、よりの確なモニタリングスポットはあるかどうか考える。
- 4) イベントの効果を、地域への還元も含めて人流以外で測る方法についても併せて検討していく（周辺施設や店舗の売り上げへの影響など）。
- 5) 特に遠方からの来訪者が増えるイベントについては、その分地域への波及効果が考えられる。地域内には、遠方からの多くの来訪者が見込めるイベントはどの程度あるのか、改めて確認し（すでに知名度が高い、著名人が来訪する興行イベント等）、その上でそれらを活用してどう波及効果を広げられるかを考える。

【まとめ】

今回のレポートでは、「おでかけウォッチャー」でイベント効果を分析する方法を試行してみました。集客力のある大きなイベントであっても、思いのほか遠距離からの来訪は少ないことが分かりました。また、そもそも来訪者数レベルの小さいイベントでは、時間帯や距離帯の影響を分析することは難しいことも体感できました。

一方で、イベントによる来訪者数増加量については、同じ季節の他の週末など、イベントの有無以外は同じような条件を有していると考えられる日との比較を通じてある程度、想定できそうな感触を得ました。3回のレポート作成を通じて様々な試行を行いました。共通して言えることは、元データの特徴を適切に理解した上で分析結果を丁寧に考察していくこと、数字を鵜呑みにしないこと、が適切な活用に向けて重要であることです。これらレポートを参考に皆さんもいろいろな試行を行って頂き、良質なケーススタディを追加して情報共有頂けると幸いです。